竹田キャンパス

観客の目に涙　8月8日（日）「十二夜」竹田市文化会館公演

竹田キャンパス開設記念公演として、竹田市との共同主催で演劇公演を実施、首藤勝次市長をはじめ200名の観客が集まりました。シェイクスピアの原作を時代劇に翻案し、本学演劇サークルを中心に立命館アジア太平洋大学有志、竹田市の５つの小学校と中学校からも6人の児童が参加しました。「ラストに少し涙が…（40代女性）」「またぜひ観たい（60代男性）」「初めて時代劇を舞台で観ました。テレビよりずっと気持ちが伝わります（10代女児）」等、100名以上の方が感想を寄せて下さいました。オペラを希望する声もあり、竹田キャンパスを利用しての定期公演も検討中です。

※「写真撮影　竹田市秘書広報係　江藤孝行氏」

竹田キャンパス通信

夜風にあたりながら運動場に出ると、暗闇に満点の星空が広がります。そんな星空を眺め、日々を涼しく過ごしております。

この竹田キャンパスも動き始めて３か月少々、勉強会、交流会、合宿等が行われました。ゆっくりとではありますが、学生達の、地域のみなさんの新しい居場所になりつつあります。

十二夜の演劇前日に竹田キャンパスに宿泊し、遊んでいた学生達が次の日になると「キリッ」とした演技を披露しているのを見て、みんな楽しく頑張ってるんだなぁと、なんだか嬉しく思いました。

これからも、もっとみんなが楽しめる、そんな場所になればと思っております。　　　　（美術科非常勤講師　前田亮二）

地元の方との交流会（8月6日）▲

8/7（土）大分七夕まつりに参加しました

８月７日、大分市街地で開催された「大分七夕まつり」。本学の学生も、大分駅前から昭和通りまでの目抜き通りを歩行者天国とした「七タブロードウェイ2010」の様々な企画に参加しました。

第一部の特設ステージでは和太鼓・ジャグリング・ダンスサークルと、音楽科管楽器アンサンブルが出場。ステージ付近では綿菓子やかき氷、ボールすくい、輪投げなど子どもたちが楽しめる模擬店を出店し、会場を盛り上げました。第二部では「切手のない贈り物」のコーラスの演出に手話サークルが参加。ラストは朝から青年会議所の方と一緒につくり続けた１万個のバルーンリリース！市民の願いをのせて空を舞う風船はとても綺麗で、夢のあるフィナーレとなりました。

Oita Prefectural College of Arts and Culture

WELCOME TO NEPAL

前号に引き続き、情報コミュニケーション学科の留学生ゲワリ・マニ君に出身国のネパールについて紹介してもらいます。今回は主にネパール料理と物産品について教えてもらいます。

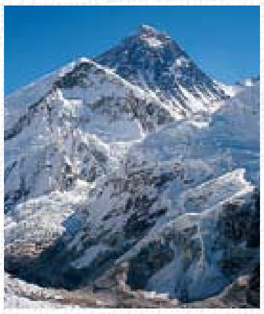
～ネパールの基本情報～

首　　都：カトマンズ
面　　積：147,181平方km
　　　　（日本の約3分の1）
共 通 語：ネパール語
時　　間：GMT+5.75H（日本とは3時間15分の時差がある）
通　　貨：NRP（Nepal Rupee）
国　　教：ヒンドゥー教（世界でヒンドゥー教を国教としている唯一の国）
主な産業：農業、観光
休　　日：土曜日、祝日

ネパールの食べ物ならネパール料理と色々な民族料理が有名です。また、世界各国の有名な料理も食べることができます。飲み物はリンゴのお酒が有名ですが、ラッシという飲み物も外国人に人気があります。もちろん、ネパールにはたくさんのおいしい料理がありますが、隣接するインド、チベットから入ってきたものも多いです。

ダルバート

ネパールの主食は米。観光客の行くような都市部、トレッキングルートでは米（バート）の食事がメインになります。このバート（米）とダル（豆のスープ）、タルカリ（野菜）の三点セットがネパール人が主に食べる定食ダルバートです。



モモ

日本で言うギョーザのこと。店によって形等はずいぶんと違い、日本で馴染みのある形の他、中には肉まんのような形をしたものまである。

チョウメン

焼きソバのこと。バフ（水牛）チョウメン、チキンチョウメン、エッグチョウメン、ベジタブルチョウメンなど。

ネパールのお土産なら手作りの伝統的なものが有名です。それからネパールの民族衣装も人気があると思います。歴史的、伝統的なものも買うことできるのでいいと思います。

カトマンズの町を歩いているとバザールではいろんな物が売られています。セーター、タンカ、カーペット、スパイス、お茶、人形、サリー、仏像、絵ハガキ、Tシャツ、紙など、、、、

みなさん、ぜひネパールに来てください。

Namasté Nepál नमस्ते

私の就職活動体験
～ミスをカバーすることも大切～

松原 美里（情報コミュニケーション学科2年）

私は、６月上旬に大分トヨペット株式会社から内定をいただきました。内定から２か月になりますが、当初から自動車業界への就職を希望していたので、今も内定の喜びをかみしめています。実は、最初に受けた会社は、緊張のあまり面接で失敗したので、今回は、気負わずリラックスして面接に臨みました。それがよかったと思います。

今回の就職活動の中で、エピソードが一つあります。それは、筆記試験と適性検査の後、履歴書を郵送することになっていたのですが、郵送してしまってから、履歴書に押印し忘れたことに気づいたのです。すぐに人事担当の方に電話を入れ、お詫びし、対応の仕方をたずねました。このミスが気になっていたので、最終面接が終わったときも、一言お詫びを述べて退室しました。すると、社内ですれ違った役員の方から「履歴書の子だね」と声をかけていただきました。私のことを覚えてくださったようでした。

就職活動では、一つひとつの手続きを確実に進めることが大切です。しかしミスにどう対応するかも、それ以上に大切だと思いました。私の場合、ミスへの対応が案外プラスに働いたのかもしれません。自分のミスや不手際にすぐに対応することの大切さを学ぶことができた貴重な就活体験でした。